

ゆうあい ほつとらいん

平成28年 8・9月号
第254号



公益財団法人
調布ゆうあい福祉公社
調布市国領町3-8-1

☎042(481)7711 FAX042(483)4378

公社は、これまで機関紙「ゆうあい ほつとらいん」を通して、「ソーシャルワーカー訪問記」「パトナタッチ」「声」今月の顔」等、様々な声を届けてきました。機関紙「ゆうあい ほつとらいん」には、公社と会員(市民)、会員同士のつながりを大切にしたいという思いが込められています。今号から、「ゆうあいと私」と題して、皆様が「ほつと」でできるようなコラムを掲載していきます。

「ゆうあいと私」

今回は、利用会員の山中美子さんと、山中さん宅でホームヘルプ活動をしている協力会員の山形高子さんの声を紹介します。

山中美子 利用会員

いま私は週1回ゆうあいの協力会員さんのホームヘルプサービスを受けながら、元気にひとり暮らしをしています。

以前、右腕を粉碎骨折してできないこともあり、その上、片づけが下手な私は、いろいろ教わることも多く、大変助かっています。健康といつても80歳を過ぎると何かと不自由なこともでてきます。少しの支えで、好きな山歩きや、ボランティアを



山形高子協力会員、山中美子利用会員

しながら快適にひとり暮らしができています。

かつて介護の社会化や地域の助け合いによる有償の在宅福祉サービスを願って活動してきましたが、今は、その夢が実現したゆうあい福祉公社のサービスを受ける側となりました。

元気で介護保険該当者にならず、できるだけ在宅で健康寿命を延ばしたいと思います。

山形高子 協力会員

65歳で退職し、ボランティアとおけいこ事を週1回ずつしておりましたが、自分が社会からだんだん置いていかれるような気がしている時に協力会員説明会を知り、説明会に伺いました。

年齢的に体力は年々落ちてきませんが、私でも出来ることがある、少しでも、利用者さんのお役に立てることがあつて嬉しいのです。

今まで単発活動を含めて、8件の家事支援をして参りました。長い方は、もう8年になります。今は週2回2件のお宅に伺っております。一人は自分よりも約10歳以上の方と、もう一人20歳以上の方です。

「これからの自分はこの先こうなるのかしら」と大変勉強になります。常に前を向いている方をお手本にしたいと思います。

協力会員になったお陰で、ゆうあいネットがある事を知り、今は週1回公社でパソコンを楽しんでおります。

平成27年度 事業報告

公社の将来ビジョンの検討・運営体制の整備

携を図ることにより、総合力を活かした組織へと変革できるよう組織改正を行い、各部門、各事業における専門性をさらに活かした人員配置といたしました。また、職員育成のために、理念の習得や経営改善に向け情報共有を図りました。

平成27年度 会計報告

平成27年度の収入総額は5億6504万634円、支出総額は5億7316万3484円。その結果、当期収支差額は△812万2850円となりました。前期繰越収支差額を充当した結果、次期繰越収支差額は3327万2996円となりました。

公益法人としての使命を十分に果たすことができるよう、収支改善を図り、財政基盤を強化するとともに会計の透明性を高めるよう努めてまいります。

住民参加による事業を推進する

とともに、介護保険事業においては、様々な配慮を要する利用者を中心にサービス提供できるよう、支援体制を整えてまいりましたが、財政面においては赤字経営が続き、経営改善が喫緊の課題となつていきます。特に介護保険事業における経営改善が急務であることから、民間のコンサルタントを導入し課題分析や改善策の検討に取り組みました。特定事業所加算を取得するなど収益の増加や経費節減に努めた他、人員配置の見直しに取り組みました。引き続き経営改善の取組について重点的に推進して参ります。平成27年度の重点事業の取組は次のとおりです。

介護保険制度改正への対応

平成27年4月は介護保険制度と報酬額の同時改定が行われ、特別養護老人ホームへの入所基準の変更などについて広報紙で紹介するなど、周知に努めました。また、必要に応じて制度改正についての説明を行いました。総合事業については、準備に向け情報収集に努めました。

地域における

支え合いの仕組づくりの取組

調布市から「調布市生活支援体制整備事業」を受託し、第1層生活支援コーディネーター及び協議体を設置し、支え合いの地域づくりに向けて取組を開始しました。介護保険制度改正により新たに創設された制度であることから、この事業の目指すべき方向性や具体的な仕組づくりについて、生活支援コーディネーターとしても、試行錯誤を重ねながら進めました。また、食事サービス連絡会を開催し地域のネットワーク化、関係者間の情報共有・連携に向けた取組を進めました。

認知症を中心とした当事者と家族介護者支援の取組

平成26年7月から開始した「だれでもカフェ」は、認知症の家族介護者の交流と相談の場であるとともに当事者の居場所となっております。若年性認知症の家族介護者の参加もあり、介護者が抱える悩みを協力会員や地域住民と共に傾聴する中で、改めて地域で認知症を理解し、支える体制作りの重要性を認識しました。

平成27年度収支決算の状況

(単位：円)

| 《収入の部》 | 決算額 |
|-----------------|-------------|
| 事業収入 | 368,293,977 |
| 補助金等収入 | 183,697,448 |
| その他収入 | 13,049,209 |
| 収入合計 | 565,040,634 |
| 《支出の部》 | |
| 高齢者・障害者等支援事業 | 482,973,366 |
| 普及啓発・人材育成調査研究事業 | 3,469,621 |
| 管理費 | 86,720,497 |
| 支出合計 | 573,163,484 |
| 当期収支差額 | △ 8,122,850 |
| 前期繰越収支差額 | 41,395,846 |
| 次期繰越収支差額 | 33,272,996 |

*公社ホームページの「公示・情報開示」に事業報告書、財務諸表を掲載しております。



100歳のお祝い

利用会員の篠崎次男さんが3月16日に100歳のお誕生日を迎えられました。お誕生日に長島前理事長と住民参加の活動をされている塩崎邦子協力会員と担当者の中山で自宅へ訪問し、お祝いのお花を贈りました。長島前理事長より、「100歳おめでとうございます。」とお祝いの言葉を添えて花束をお渡しさせていただきました。「この年なので、いづつうにかなるか分かりませんが、お祝いしてくれて、ありがとうございます。」と笑顔でご返答して下さいました。

ホームヘルプ活動で篠崎さんを支援されている塩崎協力会員より次の感想をいただきました。

塩崎邦子協力会員

「活動に伺う度に100歳というご年齢なのにすごくお元気で、とても気遣いがある方で、いつもすごいな、と思っています。私は年なのでそろそろ活動を辞めようかと考えておりましたが、篠崎さんとお会いしたことにより、ご高齢でありながら、はつらつとしたお元気な篠崎さんを見習って、これから頑張らなければいけないと強く思いました。」



▲塩崎邦子協力会員、篠崎次男利用会員、長島敏明前理事長

▼段ボールの写真立て



間のかかる作業でしたが、その甲斐あって、飾り付けをした作品は、クラフト調でまるで売り物のようです。さて、今年は2年ぶりに秋にバザーを行います。詳細は後日お知らせします。楽しみにしていただこう。

ぶちぽあん通信

蝉の声が賑やかに夏本番を迎えました。お変わりありませんでしょうか。

ぶちぽあんの中庭では、いんげん・きゅうり・枝豆・ゴーヤ・トマトを収穫し、もはや「緑のカーテン」ならぬ「ぶちぽあん畑」と化しています。

春に満開のバラの前で一人ずつ撮った写真をお部屋に飾って頂きたく、段ボールのリサイクルも兼ねて皆さんで写真立てを作りました。段ボールを濡らしたあと凸凹を残して剥がすという手間のかかる作業でしたが、その甲斐あって、飾り付けをした作品は、クラフト調でまるで売り物のようです。

熱中症に注意しましょう

高齢者の方は温度に対する感覚が弱くなるため、室内でも熱中症にかかりやすいと言われています。以下の対策をとって暑い時期を乗り切りましょう。

対策

1、気温や湿度を知ろう

高齢者の方は体温の調節機能が落ちてくるため暑さを自覚しにくく、熱を逃がす身体の反応が遅れがちです。

2、室内を涼しくしよう

日差しのない室内でも、高温多湿・無風の環境は熱中症の危険が高まります。冷房や扇風機を適度に利用し、涼しく風通しのよい環境にしましょう。

3、水分を計画的にとろう

高齢者の方は体内水分量の減少により脱水になりやすく、さらに脱水を察知しにくいいため、水分補給が遅れがちです。

4、お風呂や寝るときも注意しよう

入浴時や就寝中にも身体の水分は失われます。入浴時前後に水分補給しましょう。

5、外出の時は身支度に配慮しよう

帽子や日傘を利用し、身体を守りましょう。



5.6月のみなさんの様子です



野菜もよく育っています!



テラスの紫陽花観賞



陶友展



リコーダーの演奏と共に歌いました

調布市地域密着型サービスにおける

運営推進会議報告

7月6日(水) 13時実施

平成28年度から認知症対応型通所介護事業所については、事業の運営に当たって地域との結びつきを重視し、交流に努め、地域に開かれたサービスになるよう利用者・ご家族・地域の住民の代表者・専門職で構成された運営推進会議を6ヶ月に1回以上開催することが必要となりました。

会議録に関しては後日当事業所窓口、ホームページ等で公表いたします。

家族会報告

利用者のご家族同士の交流会と情報交換の場として7月6日(水)今年度第1回目の家族会を7名のご参加を得て開催しました。

ご自宅での様子や日々の介護の悩みなど。介護者同士で語り合う場となりました。



5.6月の活動報告

☆来訪

二胡演奏 松前さん

(5月26日・6月17日)

ぬくもりの会

(5月11日・25日・6月8日・22日)

朗読 石川さん

(5月16日・6月21日)

リコーダー ドルチェ (6月16日)

☆避難訓練

(5月13日・6月2日)

☆行事

・五月節句 (5月8日～14日)

・あじさい観賞 (6月1日～18日)

8.9月の活動予定

☆来訪

・二胡演奏 松前さん

・ぬくもりの会

・朗読 石川さん

☆行事

・夏まつり

・敬老会

布(シート・タオル)のご寄附ありがとうございました。引き続きご寄附をお願いします。



☆個人ボランティア

5月延べ 49名 / 6月延べ 64名

皆様のご協力ありがとうございました

東京都社会福祉協議会 在宅サービス部会報告

平成28年2月22日(月)東京都社会福祉協議会在宅福祉サービス部会が開催されました。平成27年度第3回情報交換会「地域における助け合い・支え合い活動の意義と展開」として公社 協力会員の四家綾子氏、渡辺美代子氏と共に、公社職員の武安が実践報告しました。

四家氏と渡辺氏は、公社での協力会員活動の経験と、それぞれが地域で立ち上げている「野ヶ谷の郷(四家)」「おいしいカレーの日(四家)」「夕友クラブ(渡辺)」などについて報告しました。また、同席の公社職員より協力会員活動について報告しました。

「他の団体の発表を聞いて継続することの大切さ、そして力強さを感じた。『人暮らしになると夕暮れが寂しい』という声から、仲間と一緒に夕飯を食べる会を作ったが、改めて長く続けていこうという気持ちを持ちを強くした。(渡辺)」などいろいろなことを学ぶ機会になりました。



公社職員武安、四家氏、渡辺氏

だれでもカフェ報告

平成28年6月26日(日)だれでもカフェ「こくりようカフェ」で、企画「ポッチャで遊ぼう」を行いました。多くの子どもたちも参加し、高齢の方と一緒にパラリンピック種目であるポッチャをやってみたり、講師の電動車椅子に初めて触れる等、大いに盛り上がりました。

だれでもカフェは、認知症の当事者、家族、地域住民、専門職などが集い交流できる「認知症カフェ」です。認知症カフェは、同じ境遇の人と悩みを共有するだけでなく、介護や福祉の専門職からアドバイスを受けたり、地域の住民と交流を深める場です。公社では、国領とぶちぼあんの拠点を活用し、偶数月の第4日曜日正午～3時で「こくりようカフェ」、奇数月の第4土曜日



正午～3時にぶちぼあんで「ぶちカフェ」を開催しています。皆様のおこしをお待ちしております。

ご寄附をいただきました

例年「絵手紙花の会あくろす木曜教室」の皆様より絵手紙のご寄附を頂いており、

本年も6月にご寄附いただきました。公社食事サービスを利用されている利用会員の皆様にお食事と共にお渡ししました。ありがとうございました。



公社の個人情報の取り扱いについて

公社は市民の皆様のご協力によりサービスを提供しているため、多くのサービス利用者、協力会員の皆様の情報を取り扱っております。これまでも公社は「個人情報保護法」(平成17年4月施行)に基づき「個人情報保護規程」を設けて、皆様の情報の適切な取り扱いに努め、厳重に管理を行ってまいりましたが、今

後も東京都等で示されている取り組み事例に基づき、より一層丁寧な対応を行っていきたくと考えております。何かご不明な点がございましたら、いつでも事務局までお問い合わせください。

個人情報の取り扱い

① 目的を明確にして個人情報を収集します。

個人情報を教えていただく際には、その情報の利用目的についてあらかじめ説明いたします。

② 取り扱う個人情報を明らかにします。

どのような情報を教えていただくかについては文書にて呈示いたします。

③ 個人情報を適正に管理します。

取得した個人情報は適正に管理します。

④ 目的外には利用、提供いたしません。

取得した情報は①でご説明した目的のみで利用いたします。ご本人の同意がある場合や個人の生命、または財産の安全を守るため、緊急かつやむを得ない場合以外には、目的外で第三者に提供することはありません。

地域包括支援センター ゆうあい

介護教室参加者募集

今年度の介護教室は、リハビリ専門の理学療法士を講師にお招きして、介護予防についてみんなで勉強します。(詳細については、お問い合わせください)

【日程】①9月21日(水)、②9月28日(水)

【時間】各回14時～16時

【定員】各回30名(申込み順)

【会場】調布市市民プラザあくろす3階(国領町2-5-15)

【参加費】無料

■申込み・問い合わせ先

地域包括支援センターゆうあい
☎042(481)4973



生きがい介護予防講座 「男性のための料理講座」 参加者募集

生きがい介護予防講座は、中高年の方を対象に地域住民同士の交流による仲間作り、そして参加者自身の生きがいと社会参加の機会を提供するとともに、介護予防の視点を取り入れ要介護状態になることができるだけ防ぐことを目的に毎年実施しています。

包丁の使い方からおもてなし料理まで楽しく家庭料理を学びます。

【日程】①10月5日(水)、②12日(水)
③20日(木)、④26日(水)

【時間】各回9時半～14時

※残り1回分は、11月に開催します。日程については8月中旬に決まります。

【会場】調布市市民プラザあくろす調理室(国領町2-5-15)

【講師】管理栄養士 斉藤由紀子氏

【参加費】5,000円(食材費)

【対象者】市内在住の概ね55歳以上の男性

【定員】申込み順12名

【締切り】9月9日(金)

■申込み・問い合わせ先
住民参加推進係

☎042(481)7711

調布市福祉人材育成センター 介護職員初任者研修 (旧ホームヘルパー2級養成研修)

受講生募集

【内容】介護の仕事をする方の入門資格です。介護職として働くうえで必要な知識と技術を習得することができます。経験豊富な講師陣が丁寧に指導します。

【日程】平成28年8月29日(月)～11月18日(金)のうち29日間(実習2日含む)

【対象】市内在住・在勤で全日程通学可能な方、市内で介護職員として就労希望の方

【定員】申込み順20名

【費用】16,480円(消費税、テキスト代含む)

■申込み・問い合わせ先
8月19日(金)までに調布市福祉人材育成センター(調布市こころの健康支援センター内)

公社の夜間帯における 電話対応について

平成28年8月15日(月)から調布ゆうあい福祉公社(代表番号)の夜間帯における、電話対応につきましては、留守番電話による受付となりますので、ご承知おきください。なお、地域包括支援センターゆうあいへの連絡については、これまでのとおり転送により24時間受け付けております。関係者の皆様へはご不便をおかけいたしますが、何卒よろしくお願いたします。

【代表番号】

☎042(481)7711

夜間帯(午後6時15分～翌朝午前

8時)↓留守番電話

【変更日】平成28年8月15日(月)から

「**ご寄附ありがとうございます**」

塩崎 邦子様 3万円

匿名 タオル 18枚

匿名 ビニール袋 30枚

匿名 布・シーツ

匿名 そらまめ 10kg

匿名 紙パンツ 4箱

匿名 防水シート

.....
会員状況(平成28年6月末現在)

○利用会員286世帯(393人)

○協力会員298人

○賛助会員 個人150人
法人 3団体